

日時： 7月15日(日)～16日(月)
場所： なぎピカリアミュ - ジアム・蒜山・大山・鏡ヶ成
講師： 岡山理科大学生物地球学部生物地球学科 西戸 裕嗣 教授
(TAとして大学院生土屋裕太さんの支援がありました。)
参加生徒： 岡山理科大学附属高校1年生16名(男子14名 女子2名)
行程： 15日 学校出発 - 津山着 - 昼食 - 化石採集 - バス移動 -
蒜山学舎着 - 採集試料観察・化石モデリング -
夕食(バーベキュー)・入浴 - 星の学習 - 就寝
16日 化石モデリング仕上げ - 蒜山学舎発バス移動 - 昼食 -
大山見学 - 鏡ヶ成見学 - 蒜山見学 - バス移動 - 学校着



化石発掘体験(なぎピカリアミュ - ジアムにて)
ハンマーを手に、炎天下の中、古瀬戸内海に生きていた
様々な生物の化石の発掘に挑戦しました。



化石のモデルづくり(蒜山学舎にて)
型枠→型→モデルで完成！写真を参考に、
モデルは絵の具で色付けを行いました。



自然観察(大山・鏡ヶ成・蒜山にて)
バスで巡り、火山灰や火砕流の跡などを
観察し、中国山地の火山の歴史を学びました。



珪藻土採掘見学・化石採集(蒜山にて)
蒜山に大きな湖があった頃、ケイソウが大繁殖し、その遺骸が、
化石として数十mも堆積していました。

「研修を終えての生徒の感想」

最初は何が化石なのかわからなかったが、時間がたつと、段々わかるようになり、時間が早く過ぎ、とても楽しかった。
希少な目のおさがりやピカリアなどを狙い、黙々と土を掘り、岩を叩いた。残念ながら、目のおさがりは発掘できなかったが、
ピカリアや木の葉・骨の化石・カルライト鉱石などを見つけることができた。他にもどんな化石があるか、もう一度調べてみたい。
繊細な作業の連続で、時間との勝負だったが、見本に近いものができた。天体観測はできなかったけれど、西戸先生の話はとても興味深く、自宅で天体観測を行った。

キナコと呼ばれる、鹿児島で噴火した火山灰の地層部分が大山の地層の間に観察できた。その部分をなめると、独特なざらつき感があり、驚いた。蒜山で、過去に想像を絶する大噴火が起きていたことや、旭川の源流の水のおいしさに驚いた。これからも蒜山に足を運びたい。

ケイソウ土を採取し、その中に木の葉や木片と思われる化石が見つかった。原土と乾燥した土では、手ざわりが異なり、面白かった。高所に上り、化石が取れたので、もっといろいろな場所で調べてみたい。

全体を通じて：地球環境に注目していきたい。友人や、他コースの人達との交流が大切だと思った。